

第2次がん対策推進計画 全体目標及び個別目標達成状況について

資料1

全体項目	目標	目標達成状況 (達成:青 達成できる見込みあり:緑 達成は困難な見込み:ピンク 評価時期でない:無色)	第2次 評価年	評価	第二次推進計画評価 (最終データ)	計画策定時	計画策定時 (第2次)	出典
「75歳未満のがん年齢調整死亡率」	(H29) がんによる死亡者の減少 75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対) 20%減少(69.0) (国の目標値) 全がん年齢調整死亡率:76.7 (20.0%減少)	◆平成28年の75歳未満年齢調整死亡率は、67.6で計画策定時に比べ23.2%減となり、目標を達成した (国) 平成27年の75歳未満年齢調整死亡率は、79.0 (計画策定時に比べ15.6%減)	(H28)	達成	(H28) (計画策定時比較) 75歳未満のがん年齢調整死亡率(人口10万対) 全がん 67.6 23.2 %減少 胃 8.5 24.8 %減少 大腸 9.9 3.9 %減少 肝臓 5.5 43.9 %減少 肺 11.5 25.8 %減少 乳房 9.2 -2.2 %増加 子宮 4.0 0.0 %減少	(H18) 男女計 (人口10万対) 75歳未満年齢調整死亡率 88.0	(H22) 男女計 (人口10万対) 75歳未満年齢調整死亡率 78.2	人口動態統計 国立がん研究センター・がん対策情報センター「がん死亡統計」 胃 11.2 大腸 9.6 肝臓 8.8 肺 12.5 乳房 8.3 子宮 4.4
療養生活の質	(H29) 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上	◆がん病院のがん相談支援センター及び県がん患者サポートセンターの相談者が増加している ◆多職種連携促進事業等の実施により在宅医療の推進が図れている	(H29)	達成	-	-	-	-
社会全体で支える取組	(H29) がんになっても安心して暮らせる社会の構築	◆就労に関する研修会の開催や治療と仕事の両立支援ハンドブック作成による就労の支援を行っている	(H29)	達成	-	-	-	-

個別項目	目標	目標達成状況 (達成:青 達成できる見込みあり:緑 達成は困難な見込み:ピンク 評価時期でない:無色)	第2次 評価年	評価	平成29年度末最新データ	計画策定時	計画策定時 (第2次)	出典
がんの 予防	成人喫煙率 (参考 男性 24.5%、女性 5.4%)	(H34) 成人喫煙率 13.9% ◆成人喫煙率は減少している	-	-	(H26) 成人喫煙率 19.6% 参考:男性 34.1%、女性 6.8%	(H21) 成人喫煙率 21.2% (参考 男性 37.2%、女性 8.3%)		県民栄養調査 (5年に1回)
	未成年者の喫煙率 高3男子 0%、高3女子 0% 中1男子 0%、中1女子 0%	(H34) 未成年者の喫煙率 ◆未成年者の喫煙率は減少している	-	-	(H28) 高3男子 2.5%、高3女子 0.6% 中1男子 0.0%、中1女子 0.5%	(H23) 高3男子 3.6%、高3女子 2.6% 中1男子 0.9%、中1女子 0.0%		子どもの喫煙等母子保健関係調査(5年に1回)
	受動喫煙で不快な思いをしている人の割合	(H34) 減少 ◆不快な思いをしている人は減少している	-	-	(H26) 38.0% 官公庁施設 6.5%、医療・福祉施設 3.7% 学校 0.9%、職場 24.9%、飲食店 51.2%	(H21) 48.50% 官公庁施設 5.1%、医療・福祉施設 6.7% 学校 4.2%、職場 29.4%、飲食店 59.7%		県民栄養調査
	敷地内禁煙事業所の割合	(H29) 増加 ◆策定時に比べ増加している	(H28)	達成	(H28) 平均 49.0% 県の機関12.9%、市町村の機関0% 国の機関 8.3%、小学校 94.2%、 中学校 81.3%、高等学校 90.3%、 支援学校100%、大学・短大51.7%、 民営事業所 5.1%、病院 45.7%	(H22) 平均 39.6% 県の機関14.9%、市町村の機関0% 国の機関 2.1%、小学校 79.7%、 中学校 75.8%、高等学校 85.0%、 支援学校91.7%、大学・短大12.5%、 民営事業所 5.9%、病院 28.3%		山梨県喫煙対策実施状況調査(2年に1回)
	禁煙支援プログラムの普及	(H29) 27市町村 ◆実施市町村は6市町村にとどまっている	(H29)	達成困難	(H29) 6市町村	(H23) 10市町村		健康増進課調査(毎年)
	子宮頸がん予防ワクチン接種率	(H29) 小学6年生 95.0% 中学3年生 95.0% ◆「積極的勧奨をすべきでない」との平成25年6月に厚生労働省健康局長通知により、ワクチン接種に関する積極的な接種勧奨を見合わせているため低い摂取率にとどまっている	(H29)	-	子宮頸がんワクチン接種に関する積極的な接種勧奨を見合わせ	(H23) 小学6年生 90.5% 中学3年生 87.2%		子宮頸がん予防ワクチン接種(緊急)促進事業費補助金実績報告
	子宮頸がん予防ワクチンを知っている人の割合	(H29) 100% 子宮頸がんワクチンの予防接種に関する状況の変化により評価できない	(H29)	-	子宮頸がんワクチン接種に関する積極的な接種勧奨を見合わせ	(H23) 68.6%		

個別項目		目標	目標達成状況 (達成:青 達成できる見込みあり:緑 達成は困難な見込み:ピンク 評価時期でない:無職)	第2次 評価年	評価	平成29年度末最新データ	計画策定時	計画策定時 (第2次)	出典	
がん予防	肝がんの75歳未満年齢調整死亡率	(H28) ※人口動態統計待ち 平成28年度までに全国平均まで改善	◆年齢調整死亡率は計画策定時に比べかなり改善している	(H28)	ほぼ達成	(H28) 山梨県 5.5 全 国 5.1	(H22)	山梨県 8.8 全 国 7.6	人口動態調査	
	市町村検診でC型肝炎ウイルスの感染が判明した者の医療機関受診率	(H28) 受診率向上 95%	◆平成22年度に比べ20ポイント程度増加したが、目標達成には至っていない	(H28)	達成困難	(H28) 69.6%(暫定値)	(H22)	46.9%	健康増進課調査	
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	(H34) 飲酒割合減少 男性 10.1% 女性 2.9%	◆飲酒割合は増加している	-	-	(H26) 男性 13.0% 女性 7.8%	(H21)	男性 11.9% 女性 3.4%	県民栄養調査	
	運動習慣者	(H34) 運動習慣者の増加 20~59歳 男性 35.0% 女性 40.0% 60歳以上 男性 55.0% 女性 55.0%	◆運動習慣は低下している	-	-	(H28) 20~59歳 男性 21.0% 女性 22.7% 60歳以上 男性 43.8% 女性 36.0%	(H23)	20~59歳 男性 23.0% 女性 29.6% 60歳以上 男性 45.0% 女性 45.4%	県民健康づくり実践状況調査(5年に1回)	
	野菜と果物の摂取量	(H34) 野菜摂取量の増加 350g 果物摂取量100g未満の者 24.0%	◆野菜摂取量は減少している	-	-	(H26) 野菜摂取量 337g 果物摂取量100g未満の者 58.1%	(H21)	野菜摂取量 335g 果物摂取量100g未満の者 47.6%	県民栄養調査	
	塩分摂取量	(H34) 8.0g	◆塩分摂取量は減少している	-	-	(H26) 10.5g	(H21)	11.1g	県民栄養調査	
がんの早期発見	がん検診受診率	(H29) がん検診受診率向上 胃がん 50.0% 肺がん 50.0% 大腸がん 50.0% 子宮頸がん 50.0% 乳がん 50.0%	◆すべてのがん検診において受診率が上昇しており、達成が見込まれる(胃、肺、大腸、乳がん検診受診率は目標達成、子宮がんは1.6%不足)	(H28)	ほぼ達成	(H28)*69歳以下の検診受診率 胃がん 50.1% (全国5位) 肺がん 58.7% (全国4位) 大腸がん 51.3% (全国3位) 子宮頸がん 40.4%(過去2年47.9%) (全国3位) 乳がん 51.4%(過去2年57.2%) (全国2位)	(H22) *69歳以下の検診受診率 胃 37.4% (全国10位) 肺 31.9% (全国7位) 大腸 29.0% (全国13位) 子宮頸 31.3%(過去2年40.5%) (全国13位) 乳 40.9%(過去2年49.4%) (全国2位)	国民生活基礎調査(3年に1回)		
	精密検査受診率	(H29) 精密検査受診率向上 100.0%	◆精検受診率はH22年度76.0%よりも低下している	(H27)	達成困難	(H27) 71.3%(暫定値)	(H22)	精密検査受診率 76.0%	健康増進事業(がん検診等)報告	
	市町村における、精度管理・事業評価及び科学的根拠に基づくがん検診の実施	(H29) 27市町村(100.0%)	◆計画策定時に比べ減少している	(H29)	達成困難	(H29) 13市町村(48.1%)	(H23)	19市町村(67.9%)	健康増進課調査	
がん医療の充実	多職種でのチーム医療の体制	(H27) すべての拠点病院で整備	◆全ての拠点病院で整備している	(H29)	達成	(H29) 全ての拠点病院	-	-	健康増進課調査	
	がん医療の質と地域での医療連携	(H29) がん医療の質の向上と医療連携の推進	◆全ての拠点病院において資質向上に努めるとともに診療体制整備に努め医療連携を推進している	(H29)	達成	(H29) 全ての拠点病院	-	-	健康増進課調査	
	がん医療に関する情報提供	(H29) 全ての拠点病院で情報提供体制を整備	◆全ての拠点病院で整備している	(H29)	達成	(H29) やまなし医療ネット、各がん診療連携拠点病院ホームページ等で情報提供	-	-	健康増進課調査	
	がん医療専門の医療従事者育成	(H29) がん医療を担う専門の医療従事者の育成の推進	◆全ての拠点病院においてがん医療専門の医療従事者の育成に努めている	(H29)	達成	(H29) 全ての拠点病院	-	-	健康増進課調査	
	医療従事者の基本的な緩和ケアの理解と、知識、技術の習得	(H29) 全ての拠点病院で、がんに関わる全ての医師が緩和ケア研修を修了	◆拠点病院における医師緩和ケアの修了者は85.0%にとどまっている(平成29年度報告)	(H29)	達成困難	(H29) 緩和ケア研修会 医師 717名修了 緩和ケア指導者講習会受講者数 8名	-	-	がん診療拠点病院現況報告	
	専門的な緩和ケアの提供体制	(H27) 専門的な緩和ケアの提供体制の整備	◆全ての拠点病院で整備できた	(H27)	全ての全拠点病院	達成	(H29) すべての拠点病院において、緩和ケアチーム・緩和ケア外来などの緩和ケア提供体制整備を実施	-	-	健康増進課調査
	拠点病院の機能	(H29) 拠点病院あり方検討結果(国)を踏まえた機能の充実	◆在り方検討結果を踏まえた取組を行い機能の充実を図っている	(H29)	達成	(H29) 拠点病院連絡協議会にてPDCAサイクルの確保のため部会を設置	-	-	健康増進課調査	
在宅医療等に係る人材	(H29) 在宅医療・介護サービス提供者の人材育成の推進	◆在宅医療と介護サービス提供者を対象と研修会を開催	(H29)	達成	(H29) 在宅医療と介護サービス提供者を対象に研修会を開催	-	-	健康増進課調査		

個別項目		目標	目標達成状況 (達成:青 達成できる見込みあり:緑 達成は困難な見込み:ピンク 評価時期でない:無職)	第2次 評価年	評価	平成29年度末最新データ	計画策定時	計画策定時 (第2次)	出典
小 談 児 支 援 希 ・ 少 情 が 報 ん 提 供	相談支援センター及びがん患者サ ポートセンターの利用件数	(H29) 年間の利用件数の増加	◆相談支援センター及びがん患者サポ ートセンターの利用件数は増加している	(H28)	達成	(H28) 山梨県立中央病院 5,063件 山梨大学医学部附属病院 2,221件 市立甲府病院 1,636件 富士吉田市立病院 1,666件 山梨県がん患者サポートセンター 105件	-	(参考 H24データ) 山梨県立中央病院 1,215件 山梨大学医学部附属病院 2,800件 市立甲府病院 449件 富士吉田市立病院 2,926件 県がん患者サポートセンター 85件	健康増進課調査(拠 点病院:現況報告) 別紙39(サポートセ ンター:委託実績報 告)
	相談員の質の向上と適正な人材配 置	(H29) すべての拠点病院の相談支援セン ターに配置 (がん看護専門看護師、社会福祉 士、臨床心理士等)	◆国で開催する研修会への派遣やピアサ ポーター養成研修の開催による資質の向上 を図っている	(H28)	達成	(H28) * がん対策情報センター基礎研修修了者 山梨県立中央病院 7名 山梨大学医学部附属病院 4名 市立甲府病院 4名 富士吉田市立病院 3名	-	(参考 H24データ) * がん対策情報センター基礎研修修了者 山梨県立中央病院 3名 山梨大学医学部附属病院 4名 市立甲府病院 3名 富士吉田市立病院 1名	健康増進課調査(現 況報告)
	拠点病院の相談支援センターと地域 の県がん患者サポートセンターの連 携体制	(H29) すべての拠点病院の相談支援セン ターと連携が図れる	◆会議・研修会を通じ連携体制を構築してい る	(H29)	達成	(H29) 会議・研修会を通じ連携体制を構築	-	-	健康増進課調査
	県外医療機関との連携・協力体制の 確立と相談支援体制の整備	(H29) すべての拠点病院の相談支援セン ターにおいて体制の整備が図れる	◆セカンドオピニオン希望者に対し県内外医 療機関を紹介している	(H29)	達成	(H29) セカンドオピニオン希望者に対し県 内外医療機関を紹介	-	-	健康増進課調査
が ん 登 録 ・ が ん 研 究	がん登録の精度	(H29) 向上させる	◆がん登録精度は向上している	(H29)	達成	(2014年罹患集計) DCN 10.9% I/M 2.06 DCO 6.1%	(2008年罹患集計) DCN 29.8% I/M 2.34 DCO 11.8%	-	全国がん罹患モニタ リング集計(毎年)
	がん登録の活用	(H29) 活用しやすいがん登録の実現	◆がん登録やがん検診のデータ分析結果 を、医療従事者等に還元している	(H29)	達成	がん登録やがん検診のデータ分析結果を、研 修会等を開催市医療従事者等に還元している	-	-	-
	ゲノム解析センターの整備	(H25) ゲノム解析センターの開設	◆ゲノム解析センターを平成24年度に開設	(H25)開設	達成	(H25) ゲノム解析センターの開設	-	-	-
	がん医療・がん研究に関する情報提 供	(H29) がん医療・がん研究の理解者の増加	◆県民公開シンポジウムを開催市アンケー ト結果からがん医療に関する理解者は増加 している	(H28)	達成	(H28) H25~H28年度の平均 理解できた者 83.8 %	-	(参考 H24データ) 理解できた者 63%	健康増進課調査(県 民公開シンポジウ ム)
が ん の 教 育 ・ 普 及 啓 発	学校でのがんに関する普及啓発(学 習活動)	(H29) 小・中学校、高等学校等で、がんに関 する普及啓発(学習活動)の実施(5年 以内)	◆リーフレットを作成配付し活用されている	(H29)	達成	(H29) リーフレットの作成・配布・学習での活用 小学6年生 } 中学3年生 } 配付 高校1年生 }	-	(参考 H24データ) リーフレットの作成・配布・学習での活用 中学3年生 高校1年生	健康増進課調査
	県民に対する効果的な普及啓発活 動	県民が、がん予防、早期発見、緩和 ケア等について普及活動の推進	◆県民公開シンポジウムの開催やキャン ペーンの実施により普及を図っている	(H29)	達成	(H28) 県民公開シンポジウムの開催 238名参加 (H29) 普及啓発キャンペーンの実施	-	(参考 H24データ) 県民公開シンポジウムの開催380名 参加	健康増進課調査
	相談支援体制の整備	相談支援体制の整備	◆全ての拠点病院への相談支援センターが 整備され、山梨県がん患者サポートセンター も開設されている	(H29)	達成	(H29) セカンドオピニオン希望者に対し県 内外医療機関を紹介	-	-	健康増進課調査(拠 点病院機能強化事 業補助金)
就 労 を 含 め た 取 組 的 な 問 題	がん患者の仕事と治療の両立	(H29) 仕事と治療の両立が図れる事業所の 増加	◆事業主の就業継続に対する理解は治療し た時期(5年前と現在)で比較すると改善して いる	(H29)	達成	(H28) (がん患者調査)就業継続の理解あり :治療中(67.0%)、がん経験者(38.0%)	-	-	健康増進課調査
	就労支援等への対応	(H29) 拠点病院の相談支援センター及び地 域の県がん患者サポートセンターに 社会的な問題に対応できる相談員を 配置	◆一部のがん診療拠点病院(相談支援セン ター)では、ハローワークとの連携が行われ ている	(H29)	達成 困難	(H29) ・2拠点病院でハローワークと連携 (参考:がん患者サポートセンター相談内容) 精神的不安(30件)、症状・副作用(24件)、治療 (23件)、療養上の悩み(16件)、医療者との関 係(14件)、経済的不安(7件)、就労(2件)、緩 和ケア(2件)、その他(29件)	-	-	健康増進課調査